



「ステイホーム」の学びとは

西原 直人

静かなゴールデンウィークが始まりました。例年なら日本各地が多くの観光客を迎えて、活気あふれる週間になるのですが、「ステイホーム週間」と名付けられた今年のゴールデンウィークは、外出を控えることを全国民に呼びかけています。海外では、「ロックアウト」と呼ばれる都市封鎖や、外出禁止措置をとり、違反者には罰則が科せられるという国もあります。こうした厳しい措置を取らざるを得ないほど、今回の新型コロナウイルスによる感染状況の広がりが爆発的なものであったわけです。

日本では、2月末の突然の休校要請により、学年末の子どもたちの学びの機会が失われました。明石市では、かろうじて、3月16日から24日までの期間、登校が再開されましたが、緊急事態宣言の発出もあり、新学期が始まった途端、再度の臨時休校措置が取られることとなり、現在5月31日までの延長が決まっています。

さて、子どもたちはこの休校期間中をどのように過ごしているのでしょうか。3月の臨時休校明けに初めて登校してきた日は、教室中が、やっと友だちや先生に会えたという安心感に包まれていました。しかし今回は、いつ登校を再開することができるのか、まったく先の見えない日が続いています。自宅学習をどうやって計画的に進めればいいのかという困り感や、友だちと話をしたり思いっきり体を動かしたりすることのできないストレス、いつだれがどこで感染してしまうかわからないという、ウイルスそのものへの不安など、心理面でのケアが必要になっているのではと思っています。また、入学したばかりの1年生も含め、新しい学年への希望を胸に、新学期をスタートさせたはずの子どもたちが、目標を見失ってはいないだろうかという心配もあります。

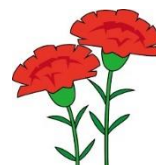
子どもたちにとって、学校は学びの場であるとともに、仲間や先生との交流を通して社会性を身につけ、自分を磨く場でもあります。特に、本校は、コミュニティ・スクールとして、地域の皆さんと触れ合う機会が大変多く、様々な場面で地域の方の支援を受けながら、子どもたちは「人間形成」に必要な経験を積み重ねています。では、登校できない状態が続くこの5月を、家庭でどのように過ごせばいいのでしょうか。

豊かな人間形成を育むためには、「意思決定力」の育成が必要だと考えられています。例えば、学校からの学習課題には、絶対にしなければならないものと、自分で探究する課題を考えたり選択したりして取り組むものがあります。ここで重要になるのは選択課題に対してどのような気持ちで取り組むかということです。課題を選択するときの基準が、単に「楽だから」とか、「苦手なものはやめておこう」という価値基準で選んでしまうと、学びの質が高まることはないでしょう。これに対して、「今までやってきたことがないから」とか、「これにチャレンジすると将来の自分に役立ちそうだ」などと、前向きな理由で課題を選択すれば、今後の人生を切り拓いていく力につながりますし、主体的に課題に取り組んだ後の充実感は比べ物にならないでしょう。

人間形成を豊かにするものとして、もう1つ「読書」の習慣化を挙げたいと思います。読書をすることで、登場人物の気持ちを想像したり、新たな知識を身につけたりすることができます。登場人物の生き方に触れることで、自分の生き方を考えるきっかけにもなります。保護者の皆様には、ときには一緒に読書の時間を楽しむなど、子どもたちの学びをそっと支えていただき、子どもたちが自ら学ぼうとする意欲を育てていただければと思います。

ところで、最近、「9月入学」構想が議論に上るようになってきました。また、学校再開を小1・小6・中3優先にしてはどうかという案も出ているようです。前者は、臨時休校が続き、学習が大幅に遅れている子どもたちに、学校での学習時間をしっかりと確保することで、学びを保障し、受験等への不安を和らげることが大きな理由だと思います。海外では多くの国が「9月入学」の制度を取っていることも理由の1つに挙げられています。今後議論は進むかと思いますが、越えなければならない課題も多く、先行きは不透明です。これに対して後者は、入学直後の子どもたちを早く学校に慣れさせたいということや、卒業や入試を控えているために優先度が高くなったことだと思います。また、学校を3密にさせないという配慮もあるのだと思います。いずれにしましても、100年に一度の国難とも言われる、今回の新型コロナウイルスへの対応として、今後も様々な案が出されると思いますが、学校としては、登校再開後の学びをしっかりと保障するために、学習指導方法の工夫や、各教科を関連させながら学習単元を配列するなどの工夫をして、各学年で履修する内容を確実に指導することができるようにしてまいります。

昨夜、家の近所から見える明石海峡大橋が、ブルーにライトアップされていました。天文科学館や明石城も同様です。これは、新型コロナウイルス感染症患者の治療にかかわる医療関係者等への応援や感謝の気持ちを表す取り組みです。医療現場で、感染のリスクを抱えながら懸命に働いておられる方々のことを思い、我々はこのゴールデンウィークを「ステイホーム」し、感染予防に努めなければならないのだと思います。



今後の学校行事について

臨時休校が続いたため、4月号でお知らせしました行事が大幅に変更となります。まず、5月に予定していた行事はすべて、中止か延期となります。また、6月以降に予定していた行事も、中止または延期となるものが出てまいります。詳しくは、学校再開のタイミングがはっきりした時点でお知らせいたしますが、現時点でわかっていることをお伝えします。

- ①1学期中は、参観日を中止いたします。
- ②体育大会は10月24日(土)に延期いたします。ただし、授業時数確保のため、1・2年、3・4年、5・6年でそれぞれ行っていた表現運動は実施せず、午前中みの開催とします。
- ③4年生の野外活動は、市内統一で中止となりました。
- ④6月8日(月)に予定していた引き渡し訓練は、日程を変更しての実施とします。
- ⑤1学期終業式は、8月7日(金)となり、例年夏休み中に実施していました算数教室と3年生以上のラッコ教室は行いません。
- ⑤2学期の始業式は、8月17日(月)となります。
- ⑥修学旅行と自然学校は、現在のところ予定通りですが、今後の状況次第で変更になるかもしれません。
- ⑦音楽会は現在のところ予定通りですが、例年通りの内容での実施は難しいのではないかと思います。

お知らせ

例年実施しております、「大人も楽しむ学習広場」ですが、しばらく開催を見送ろうと考えております。参加を楽しみにいただいている方には、大変申し訳ございませんが、このような状況ですので、ご了解いただきますようお願いいたします。

また、1年生対象の「放課後松っ子教室」、全学年対象の「放課後将棋教室」、3～6年対象の「放課後レベルアップ教室」も同様です。